

My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。



ともしび隊が独居老人等を訪問

お年寄りの安否を確認

昨年11月、役場職員を中心に結成された「ともしび隊」が5月下旬、町内のお年寄り宅を訪問しました。

同隊の活動は、独居老人等の生活相談や災害時支援などを目的としていて、訪問対象者は約320人います。

今回は、民生委員の協力を得て、グループごとに各集落を巡回し、お年寄りの安否確認などを行いました。



↑会話を通して、お年寄りの日常生活の様子を伺う隊員



↓稚魚を放流する鷹巣小の児童たち



鷹巣小児童がヒラメの稚魚放流 1万7千尾を大海原へ

町と東町漁業協同組合は5月27日、漁業資源の維持・増大を図ろうと薄井漁港に稚魚を放流しました。

放流されたのは体長約10センチのヒラメの稚魚1万7900尾。稚魚を漁船4隻で沖合まで運び、鷹巣小の4年生33人の協力を得て大海原へ放ちました。

放流を終えた平通愛海ちゃんは「ヒラメをペットにしたかった。大きくなつてほしい」と話していました。



東シナ海側でウニ漁解禁 高波などで捕獲に苦戦

本町の東シナ海に面した集落で5月下旬、ウニ漁が解禁され唐隈集落では5月17日、18日の2日間、タモや桶を手にした住民が磯に繰り出しました。

毎年、この時期に行われるウニ漁。主にムラサキウニが捕獲され、北さつま漁業協同組合や地元の加工業者に引き渡されています。

17日に浅瀬で漁をしていた女性は「今年は少ないね」。胸の高さほどのところで素潜りしていた男性は「ウニはいるけど波が高くて捕るのが難しい」と漁に苦戦している様子でした。

本町近海のウニは、年々減少傾向にあります。今後は環境破壊を食い止め、資源を守り育していく必要があります。



↑高波にのまれながら
ウニを捕獲する

←本町の透き通った海
の底に生息するウニ